

文化の丘

令和2年夏号
(ISSN 1345-2282)

No.366

- 1 図書館資料の特集展示
- 2 さまざまな特集展示
- 3 昔へいざない
 こんにちは 館長です
- 4 静岡県の図書館 Snap Shot!

特集 図書館資料の特集展示



特集展示あれこれ

県立中央図書館を訪れると、閲覧室などあちこちで「特集展示」の棚を発見することができます。これら特集展示は、当館が所蔵する膨大な資料群の中から、その時々の特ピックなどに関する資料を1か所に集めたもので、随時展示替えをしています。今回は昨年度の展示のなかから、いくつかをピックアップして紹介します。

上の写真は、左が地域資料コーナーで展示した「静岡サッカー100周年」、右が雑誌コーナーで展示した50年前と5年後開催の「大阪万博」を特集した展示です。

当館ではこの他にも多くの特集展示を企画しています。他機関との連携展示だけでなく、時季にあわせた展示や静岡県ならではの展示、話題のネタの展示など、さまざまな展示をご覧ください。



雑誌コーナーでは他にも、「レオナルド・ダ・ヴィンチ没後500年」の特集もしました。

さまざまな特集展示



山梨県立図書館と一緒に企画した特集展示です。山梨県立図書館からお借りした資料と、当館が所蔵する山梨県関連資料をあわせ、富士山や山梨県を知ることができる展示をしました。



静岡県立美術館の企画展と連携した特集展示もしています。美術館で展示を観覧した後は、関連資料を手にとっていただければ、より深く理解できること請け合いです。



閲覧室書架の側面には、その書架に配架されている資料の一部を展示しています。どんな資料があるかの目印にさせていただくと共に配架資料の探索にお役立てください。
←地域資料コーナーの書架側面です。



健康医療情報コーナーでも特集展示をおこなっています。健康や病気に関連した特集テーマ(写真は「小児がん」)の資料展示だけでなく、健康医療に関する新聞記事と、記事の内容をより深く理解するための資料の展示もしています。

これら展示は一例にすぎません。県立中央図書館では職員が知識とセンスを総動員して展示資料を選び出し、工夫をこらした展示をつくっています。

特集展示の資料も、通常と同様の貸出が可能ですので、ぜひ当館にお越しいただき、直接、展示資料を手にとってみてください。



総合案内カウンター脇でも、頻りに特集展示をしています。写真はSDGsに関する展示です。



子ども図書研究室でも季節を先どりした特集展示をしています。

県立中央図書館 開館インフォメーション

開館時間	本館	えほんのひろば
	月、火、土、日、休日 午前9時～午後5時 水、木、金（休日以外） 午前9時～午後7時	午前9時30分 午後6時

休館日	本館	えほんのひろば
	6月1、15、29、30日	6月16、17、18日
	7月6、20日、31日 8月3、17、31日	7月7、8、9、23、24日 8月10日

※休館日に関する情報は変更が生じる可能性があります。
最新の情報については当館のウェブサイトにてご確認ください。

いなしえ 歴史文化情報センター 昔へ いざない

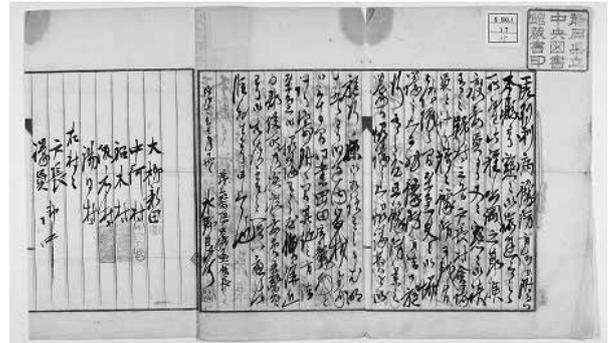
本年は新型コロナウイルスが世界的に大流行し、我が国でも4月7日には内閣総理大臣が緊急事態宣言を発令するに至りました。病原体は異なりますが、過去にも疫病の大流行が日本中を幾度も震撼させました。

明治初年のコレラ大流行と地域医療

天然痘などによる災厄は古代からありましたが、幕末・維新时期に初めて日本列島に上陸し、猛威を振ったのがコレラ菌です。元来、ガンジス川流域の風土病であったコレラは、英国がインドを植民地支配したことで世界中に広まり、開港後間もない日本にもたらされました。欧米列強の船舶が治外法権を楯に日本の検疫を拒否したことが主たる原因でした。江戸幕府が設けていた関所を明治政府が全廃し、人々の移動がより自由になったことも、コレラ感染が短期間で拡大する要因になったと考えられています。

明治12(1879)年、四国の松山で発生したコレラ禍は九州から全国へ広がり、罹患者は16万人以上、死者は10万人を超えました。静岡県も何とか感染拡大を食い止めるため、財政的に苦しい状況の中、近代的医療の整備を急ぎました。写真は榛原郡下湯日村(現島田市)文書の一部で、明治12年7月14日に第4病院区第3医区取締兼会長である種痘医・水野良介が大柳新田、中河村、船木村、阪本村、湯日村5ヶ村の戸長に宛てたコレラ予防策に関する書状です。病院区と

は、静岡県が明治11(1878)年6月28日に制定した「病院区并研修医区概則」に基づき、区内に公立病院を1ヶ所設立し、その下に医区を設け、各医師の診療エリアと研修体制を明確にしたもので、榛原郡は第4病院区に属していました。この書状の中で水野は、各村で至急に予防策を協議すること、予防策は各村会の協議費で賄うこと、区内の救急には自ら岡田玄龍殿とともに明15日から30日間従事すること、近日中に郡役所及び県の検疫委員から相談があることを記しています。岡田玄龍も阪本村在住の医師で、彼ら在郷の医師が献身的に治療やコレラ予防の啓発に当たっていたことが窺われます。



榛原郡下湯日村文書「虎列刺病豫防方法二付而八」
(静岡県立中央図書館所蔵)

静岡県立中央図書館 歴史文化情報センター 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル7階
電話 054(221)8228 FAX 054(255)3988 メール rekibun02@tosyokan.pref.shizuoka.jp

こんにちは 館長です

季節は暑い夏へと移り変わろうとしています。厳冬の頃から始まった新型コロナウイルス感染症への対応に社会全体がいまなお追われる毎日です。国を挙げて、都道府県、各自治体、全ての公私機関、企業、家庭、そして一人ひとりが、未曾有のウイルス感染症を封じ込めるためにできる限りの知恵と力を注いでいます。それぞれの立場でできることを実践し、安全安心な生活を送れる日々が戻ることを願うばかりです。

当館でも、新年度当初から計画されていた各種研修会やイベント、講演会等について、中止や延期、内容変更等の措置を取らざるを得ない状況が続いています。県内の公共図書館、社会・生涯教育施設でも同様の対策を余儀なくされています。

また、当館内での密閉・密集・密接な状況を緩和する対策を講ずる関係で、来館される皆様にも御不便をおかけしています。4月11日からは、長時間滞在や、お客様同士の接触をできる限り防止するため、閲覧室を含めた座席を撤去する措置を取らせていただきました。感染防止の安全面に配慮した最終的な選択肢は休館ですが、当館を利用する皆様の要求に、状況を確認

しつつ応えていきたいという判断でした。来館された皆様も戸惑われた様子でしたが、御理解をいただきました。

諸資料を机いっぱい広げ、じっくり腰を据えてそれぞれの課題に取り組む利用者の姿が、当館閲覧室の日常の光景ですが、座席がないこともあって、時間をかけずに何冊かの書籍を選び、あるいは事前に予約された資料を借りて、足早に退館される方がほとんどになりました。

4月18日からは休館対応となりましたが、その前日にも、入れ替わり立ち替わりで、急ぎまとまった冊数の資料を借りていかれる利用者の姿が見られました。時間をかけたレファレンスを通じて、お客様の要望にしっかりと応えることのできないもどかしさを言葉にする、職員の声が耳に響いてきました。

先が明確に見通せない状況ではありますが、「県民の力となり、地域の発展に寄与する」ことを基本的役割として再確認し、いま可能なサービスを堅実に提供していくことが、唯一の県立図書館としての使命であることを自覚し、職員一人ひとり、専門性のスキルアップに励み、協働して「調べる、考える、解決する」期待に応えていきたいと思っております。



2019.6.6 熱海市立図書館



2019.6.7 沼津市立戸田図書館



2019.6.20 湖西市立新居図書館



2019.6.26 富士市立西図書館



2019.7.5 伊豆市立天城図書館



2019.7.10 静岡市立蒲原図書館

市町立図書館の振興のために、県立中央図書館は以下の事業を行っています。

- ▷ 協力車による運営相談や分館訪問を行い、図書館運営についてヒアリングや助言を行います。
- ▷ 各図書館の間で資料を貸し借り（相互貸借）する際の、情報と物流のネットワークを提供します。
- ▷ 各図書館で働く職員のスキルアップのため、公立図書館等職員研修を企画・運営します。
- ▷ 専門的な資料を収集し、市町立図書館の求めに応じて貸出（協力貸出）します。